



高田祭 が開催されました!



5月17日(土)・18日(日)の2日間、高田商店街において西美濃地域における春祭りの最後を飾る高田祭が盛大に開催されました。たくさんの露店が立ち並ぶ中、3台の軸が曳きそろえられ、高田商店街一帯は多くの人で賑わいました。

高田祭は、まちの防災や防火を愛宕神社に祈願する行事として、江戸時代宝暦9年(1759年)から260年以上続く伝統的なお祭りです。祭事において披露される西町の「しょうじょうやま猩々軸」、東町の「りんわせいやま林和靖軸」、下川原の「かぐら神楽獅子軸」の各軸は、岐阜県重要有形民俗文化財に指定されています。試楽(1日目)では、朝から降り続いていた雨も夕方にはあがり、宵軸の曳行が無事に実施され、提灯やぼんぼりに明かりを灯した各軸が商店街を悠然と練り歩きました。かけ声とともに堂々と進む姿からは風情が感じられ、見る人たちの心を打ちました。本楽(2日目)には、愛宕神社前で各軸による奉芸が披露された後、愛宕神社から御旅所の間で奉納される神幸の儀と還幸の儀が執り行われ、祭を締めくくりました。